

福島県少年自然の家

第1節 概要

福島県少年自然の家は、児童・生徒に美しい緑や光の中で、生き生きとした野外活動や規律ある集団宿泊指導をとおして体力を増進し、規律・友愛・協同・奉仕の精神を養い、美しい心情や豊かな創造性、たくましい実践力などをつちかうことを目的として、設置された教育施設である。

当所は、昭和47年10月1日に開所し、ただちに研修活動を開始した。本年は第2年目にあたり、環境整備と内容充実を主眼に、次の基本方針により運営に当たった。

- 親切誠実でいつまでも来所者の心に残る応待
- 美しい自然環境と、清潔な生活の場の保持造成
- 義務教育諸学校や各施設、関係機関および社会教育諸団体との緊密な連絡提携

1. 少年自然の家運営委員会

所長の諮問機関である運営委員会（10名で構成）は次のとおり開催し、所の円滑な運営のうえに大きな成果をおさめることができた。

回	期 日	協 議 事 項
1	7月17日	○ 施設・設備の拡充整備について ○ 所旗・所歌の制定について
2	10月17日	○ 昭和49年度の事業計画について
3	1月16日	○ 昭和49年度利用団体の受け入れ基本方針について
4	3月26日	○ 所歌の発表並びに普及方法について ○ 運営委員会のあり方について

さらに本年度は、文部省より福島県教育委員会が「在学青少年に対する宿泊指導の拡充方策」の研究委嘱をうけ、小学生の部の宿泊指導のあり方の研究母体に当所が指定され研究が行われたので、所の運営のためには貴重な資料を得ることができた。

第2節 施設・設備の概況

1. 位 置

郡山市逢瀬町多田野字丸山54

2. 敷地面積

330,000㎡（約10万坪）

3. 建 物

(1) 本 館

鉄筋コンクリート造二階建、延 1,578.67㎡

166人収容、昭和47年3月31日竣工

(2) 体育館

鉄骨造平屋建、延 588㎡、昭和47年9月25日竣工

(3) プール

25m×15m（7コース）、水深 0.9m～1.1m
循環ろ過装置、更衣室（男女）、水洗便所、消毒槽、洗眼所、足洗い場、シャワー完備
工費 19,120千円、昭和48年9月5日竣工

(4) 倉 庫

ブロック造平屋建、延90㎡
昭和49年2月15日竣工

(5) 公 舎

所長公舎 木造平屋建、延72.6㎡
一般公舎 木造平屋建、2棟、各棟延52.8㎡
昭和49年2月15日竣工

4. 野外活動施設

(1) 野営場

① 面 積 12,000㎡
平坦な自然松林の中の空き地に芝栽植

② 建 物

ア 野外活動センター

鉄筋コンクリート造、延 91.80㎡
管理・集会・倉庫の機能を有するもの

イ ロッジ

木造平屋建、7棟、各棟延 34.02㎡

ウ 野外炊事場

鉄筋コンクリート造、2棟、各棟 54.00㎡
水道・調理台・ろ完備

エ 野外便所

鉄筋コンクリート造、2棟、各棟 40.00㎡
水洗式、男女別

③ その他おもな施設

国旗等掲揚塔（3本）、キャンプファイヤーろ（1基）、屋外消火栓（3基）、焼却ろ（1基）

④ 収容人員 ロッジ7棟分、84人（各棟12人）

⑤ 竣 工 昭和49年2月15日

(2) 運動場

本館前の一段下った位置に、12,000㎡の運動場がある。

(3) 自然遊歩道並びに観察コース

オリエンテーリング、フィールドワークや自然観察も可能なように、全山くまなく遊歩道を整備し、中丸山東南端に休憩所を建設した。

5. 職員組織